

「男らしく女らしく」男らしく思いますか？

「やっぱり、男の子は男の子らしい方がいいわいな。男の子がめめめしとつたら、みつともないわいな。」

「男らしく、女らしくということではなく、それぞれが持つ個性や能力を認め合うことが大切ではないでしょうか。」

「ただどなー、子どもを生むのは女だけ、女が外に出ずに子育てして、男は外で働くほうがいいわいな。」

「子育ては母親だけの責任でしょうか。父親、家族そして地域社会が協力することが大切だと思います。」

ます。」

「わしも、最近はや、茶わん洗いや洗濯物を干したりして手伝わると。」

「できることからしていくことはとても大切なことだと思います。でも、『手伝』ということは、家事は女性の仕事とされているのではないですか。」

「あそつか・・・自分からしようと思ってることも大切なんかな。男女共同参画ちゅうのは、自然な形で家事や育児やをするちゅうことだったかいな。」

これは、男女共同参画についての講座の中であった参加者と講師のやり取りです。

みなさんは、日ごろの生活の中で、女はこつあるべき、男はこつあるべきといった考え方を持っていますか。

これまで、このような考え方によって性別役割分担意識が植え付けられ、ひいては女性と男性の不平等をつくり出してきたと言っても過言ではありません。

私たちみんなが望んでいるのは、平等で一人ひとりが自分らしく輝いていくことができる世の中です。そのためには、女性も男性も個人の能力に応じてそれぞれの力をいかに活かせることができる社会をつくる必要があります。

男女共同参画の社会づくりは始まったばかりです。女性も男性も、毎日の生活の中で

さまざまな形でお互いに参画していくことで、自分らしい生活スタイルを見つけることができます。みなさんも、自分自身を振り返ってみませんか。

男女共同参画について
の出前講座を行っています。
お気軽にお申し込み
ください。
申し込み先 男女共同参
画課（203166）



講座にはたくさんの人が参加しています